

# 第0回冷却原子討論会 in 軽井沢

趣旨： アルカリ原子のボース凝縮の実現から20年以上経過し、近年の冷却原子の研究はますます広がりを見せるとともに、緻密化しています。欧米において、この流れを支えているのは種々の組織的な努力による積極的な人材交流や情報・ノウハウの共有です。欧米や中国に比して状況の厳しい日本ではありますが、ローカルに協力し、真の議論の場を設けることで、研究における飛躍、および次世代の育成が可能になると信じ、新しい討論会を立ち上げたいと思います。第0回と銘打った今回は、研究紹介や国際会議参加者による会議報告を通じて 情報共有を図るとともに、分野の発展のため、どのような討論会の形にするのが今後もっとも有効か議論する予定です。

日時： 2018年9月20日(木)、21日(金)

開催場所： 軽井沢友愛山荘 <https://yuai-love.com/sansou/>

〒389-0104

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東126

電話：0267-42-2477

部屋備え付けの アメニティグッズ：

浴衣、バスタオル、小タオル、歯ブラシ

参加費、宿泊費： 無料

懇親会費： 1000円（飲食持ち込み可能）

参加者： 井上(大阪市立大)、植竹(岡山大)、遠藤(東北大)、小沢(理研)、加藤(大阪市立大)、  
(五十音順) 岸本(電通大)、小林(京大)、柴田(学習院大)、田島(理研)、丹治(電通大)、平野(学習院大)、福原(理研)、堀越(東大)、向山(阪大)、真辺(慶大)  
(15人)

世話人： 井上、岸本、福原、堀越  
(五十音順)

## プログラム (質疑の時間を含む)

---

9月20日 18:00	集合
19:00~20:00	夕食
20:00~	懇親会

---

9月21日 9:00~9:45	「ECT*のレビュー、クラスター新学術の紹介、最近の研究」(堀越)
9:45~10:30	「ICAP2018のレビュー、大阪市大での研究計画、その他」(井上)
10:30~10:45	休憩
10:45~11:15	「TBA」(植竹)
11:15~12:00	全体討論「このままでいいのか国内の量エ研究(仮)」 1. 国内の学会、量エ研究を盛り上げるにはどうしたらいいか? 2. 博士課程に進む学生を増やすにはどうしたらいいか? 3. 定期的に研究会を開くにはどのようなスタイルでやるのがいいのか? を参加者全員で討論する
12:00~13:30	昼休み(カレー)
13:30~14:00	「高密度核物理への応用に向けた冷却原子気体の理論研究」(田島)
14:00~14:30	「冷却原子を用いた量子計測の動向(磁力計を中心に)」(柴田)
14:30~15:00	休憩
15:00~15:30	「Humboldt Kolleg: controlling quantum matterのレビュー。少数多体系の研究の現状と今後」(遠藤)
15:30~16:00	「冷却原子・光格子を用いた量子情報の現状、機械学習の導入」(福原)
16:00	閉会
16:00~17:00	フリータイム
17:00~	食事しながら今後の運営の検討(開催場所: 関所茶屋)

---

地図（軽井沢駅下車徒歩7分）

